

池本修一先生の定年退職にあたって

経済学部長 手塚 広一郎

池本修一先生は、令和5年3月末に日本大学経済学部を退職されました。平成8年4月より通算で27年にわたって本学部において勤務されました。先生のこれまでの多大なるご功績に対して敬意を表し、ここに池本修一先生退職記念号を謹呈いたします。

先生は、昭和58年3月に早稲田大学政治経済学部をご卒業の後、平成8年3月に一橋大学大学院経済学研究科博士後期課程を単位取得退学されました。平成8年4月に日本大学経済学部にて専任講師として着任され、平成9年4月に助教授、平成14年4月に教授に昇格し、令和5年4月より特任教授としてお勤めいただいております。

研究については、東欧経済に関する数多くの研究業績を出しています。さらに、学内の管理運営面でも、総合社会情報研究科分科委員会委員、経済学研究科分科委員会委員、国際交流担当、国際交流委員会委員長などを歴任し、経済学部の運営に大いに貢献しております。

池本修一先生は、教育面、管理運営面に優れた功績を持っております。その一方で、研究面でも極めて優れた業績をお持ちです。書籍に関しては、直近2022年の共編著である『脱炭素・脱ロシア時代のEV戦略—EU・中欧・ロシアの現場から』（文眞堂）、をはじめとしてさまざまな書籍を出版しております。また、論文についても、チェコの経済を主な対象として数多くの論文を書いております。

余談ですが、私と先生は、東欧史研究を専門とする共通の知人がおりまして、その知人を通して、最初に先生とお話するようになりました。それ以降、大学院での先輩ということもあって、何かと気にかけていただきました。それだけでなく、私が困難な状況にあるときにも手を差し伸べてくださいました。

最後になりましたが、池本修一先生の長年にわたる学恩と日本大学経済学部での多大なるご功績に対して、厚く御礼を申し上げますとともに、先生とご家族の末永いご健勝とご多幸を祈念いたしております。